

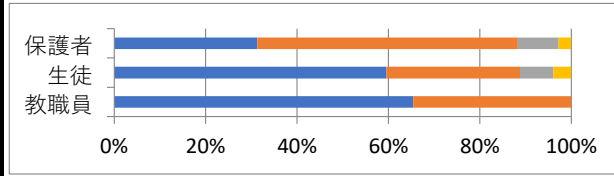
令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

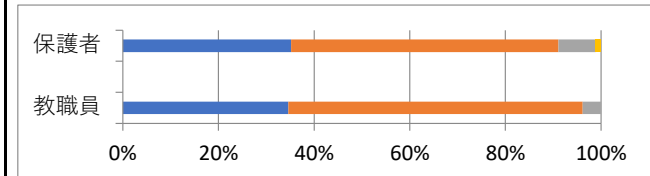
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

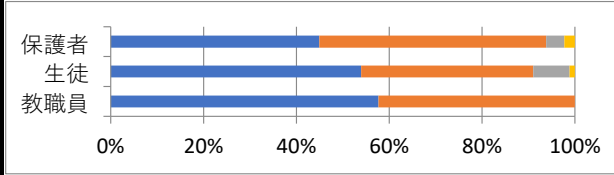


設問1では、教職員は肯定的な意見が100%だが、保護者や生徒は「わからない（無回答）」が10%程度いる。設問2では、教職員は肯定的意見が96%、保護者は91%で概ね良好といえる。学校通信や学級通信で学校の様子を積極的に発信したり、授業参観で道徳の授業を実施したりすることで、クラスや学校の様子などを知っていただく機会を設ける。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

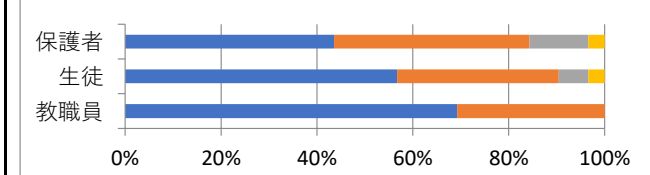
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

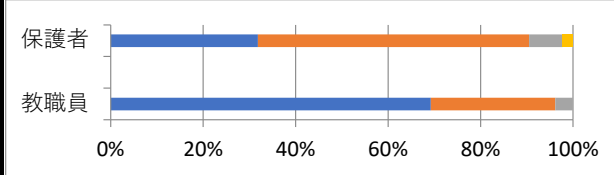


設問3では、わかる授業、楽しい授業づくりについて、教職員は100%、児童は91%、保護者は94%と肯定的な回答の割合が高い。特に児童の割合が低い。児童の実態に合った授業が行われているか振り返る必要がある。教職員で授業作り等を共有し、個々の学びを深めていくことも大切である。また、わかる、楽しい授業の基盤として、日頃から子どもたちの様子を見取ったり、コミュニケーションをとったりして授業にいかしていきたい。設問4では、タブレットを活用しながらわかる授業を教職員は心掛けて行っており、児童も楽しく効率よく学んでいると考えられる。タブレットを活用しているかどうか分からないと回答した児童は約1割程度で、どのような目的で使っているかを説明している。そのための児童のICT活用スキルを高める。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

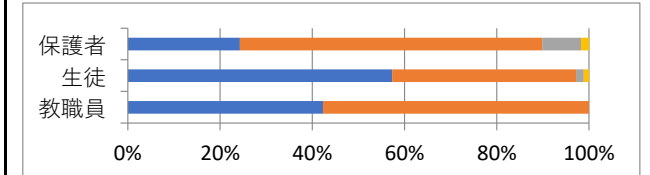
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



設問5・6への取り組みは概ねできているが、設問5で保護者の「わからない」と答えた方が多かったため、来年度は、学級便りや学校便りで学校の取り組みを発信するなど、保護者への啓発の方法の工夫が必要である。設問6では、昨年度に比べると保護者の評価は高くなったが、児童の「（どちらかといえば）そう思わない」の割合が若干増えたため、「交流及び共同学習」等の意義を理解したりよさを振り返ったりできるような時間を設ける必要がある。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>設問7では、保護者、児童、教職員全て1・2の評価が8割以上で、学校の安全対策の教育が概ねできていたと考える。しかし、引き続き保護者へ通信、ホームページでの啓発や児童主体の安全教育の設定を図る。設問8では、教職員は家庭や地域と連携できたと考えているが、保護者は3・4の評価が2割程度と昨年より増えている。保護者や地域の方々に参画していただけるような活動を状況に応じて考えていきたい。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

9 主体的な行動（学校独自1）	10 基本的な生活習慣①（学校独自2）
子どもは、自分で考え、判断し、行動できていると思いますか。	子どもは、早寝早起き、朝ご飯の生活習慣の重要性を理解し、実践できていると思いますか。
<p>「9主体的な行動」については、教職員の回答の割合が73%と低かったが、委員会活動や学級活動を通して子どもたちの主体性を引き出す取り組みを学校全体で行っているため今後の伸びを期待したい。「10早寝早起き朝ごはんの実践」については三者とも80%を下回っている。「みんなのめあて」の実践と振り返りの徹底、全校集会での計画的な校長講話、学校便りや保健便り等での保護者啓発に加え、PTAとの連携などにより、保護者の意識の向上につなげることで改善を図ることができると考える。</p>	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

11 基本的な生活習慣②（学校独自3）	
子どもは、メディアの時間を決めて、守っていると思いますか。	
<p>「11 メディア」については教職員、保護者ともに40%台と低いため、引き続き「ノーメディアデーの実践」や「メディアルールの作成と徹底」について、家庭との連携を密にしながら継続的に取り組んでいくことで改善を図ることができると考える。</p>	

来年度の具体的な取組について

○学校経営重点目標「（１）主体的に学び、自ら考える力を身に付けた子どもの育成」について

- ・子どもが学びとる授業への改善を図る（①子供の側に立っためあて②学びを深める対話③変容を自覚する振り返りの充実）
- ・校内研修では、全職員で授業改善に取り組み、教職員の授業力向上を図る。研究会では参加型の形式で行い、全職員が学ぶことができるようにする。
- ・委員会活動や学級活動を通して子どもたちの主体性を引き出す取り組みを学校全体で行っていく。
- ・子どもと教師と一緒に話し合い、決定する機会を設定する。

○学校経営重点目標「（２）「みんなのめあて」を実践する子どもを育成する。」について

- ・毎月の全校集会では、「みんなのめあて」の中から話題を選び、子どもたちへの実践意欲を高める。
- ・家庭との連携、PTA専門部会との連携や学校だより、HPを活用した情報発信を行う。
- ・「ノーメディアディの実践」や「メディアルールの作成と徹底」について、家庭との連携を密にしながら継続的に取り組んでいく。

○その他

- ・気になる子どもや欠席した子どもには電話をするなどの日々の実践や教職員による教育相談の実施、SCやSSW、心のサポート相談員の活用等、子どもや保護者の思いに寄り添い、子どもや保護者との信頼関係の向上に努める。

学校関係者評価

○学校はこれまで同様教育相談を引き続き行ってほしい。学校での様子を家庭に伝えることで、学校と家庭で協力して子どもたちを育てることができる。

○学力調査の結果から、子どもたちの学力の定着が見られ素晴らしい。先生方の日頃の授業の成果である。

○SNSとの付き合い方には課題がある。しかし、ICTの活用は、今後子どもたちの生活において必要不可欠であり、子どもたちのICTの活用能力は高まっている。SNSを禁止することは難しいため、段階的にSNSの危険性を教えるなど情報教育を進めてほしい。

○黒髪校区は細い道路が多い。歩行者も自動車を運転する大人も、互いを意識し譲り合うことで事故は減ると思う。道路の歩き方等の安全教育を行ってほしい。